

2024年3月期 第2四半期決算説明

2023年11月7日

富士紡ホールディングス株式会社

取締役社長 井上 雅偉



富士紡ホールディングス株式会社

決算のポイント



■ 2023年度上半期実績 : 減収減益

売上高	170億円（前期比▲12.8%）
営業利益	9億円（前期比▲72.6%）

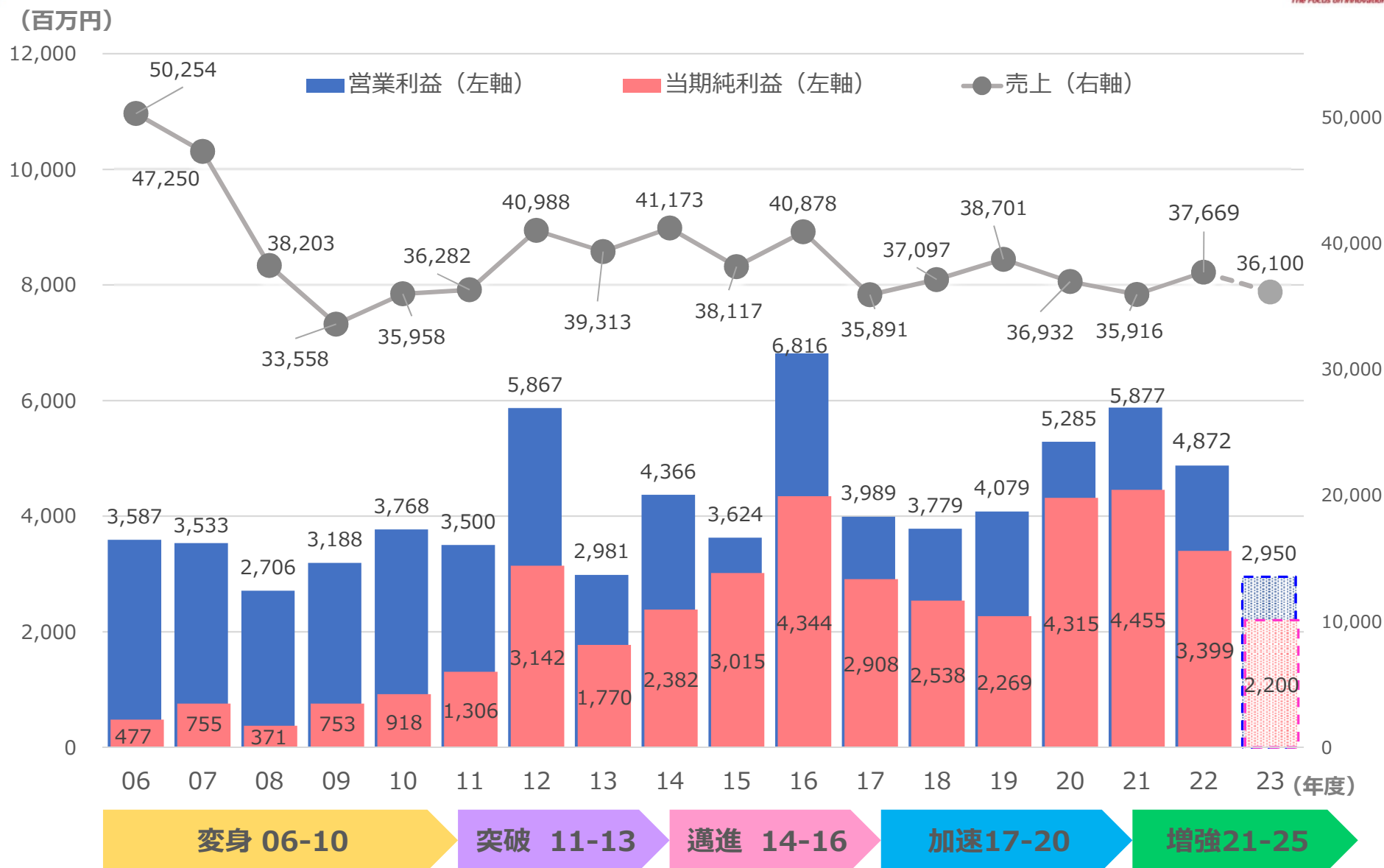
- ✓研磨材事業は、半導体市場縮小に底打ち感が見られるものの、厳しい状況
- ✓化学工業品事業は、電子材料を中心とした市況悪化に直面し、厳しさ増す
- ✓生活衣料事業は、コストアップ分の価格転嫁をしたものの、前年に届かず

■ 2023年度通期業績予想 : 減収減益

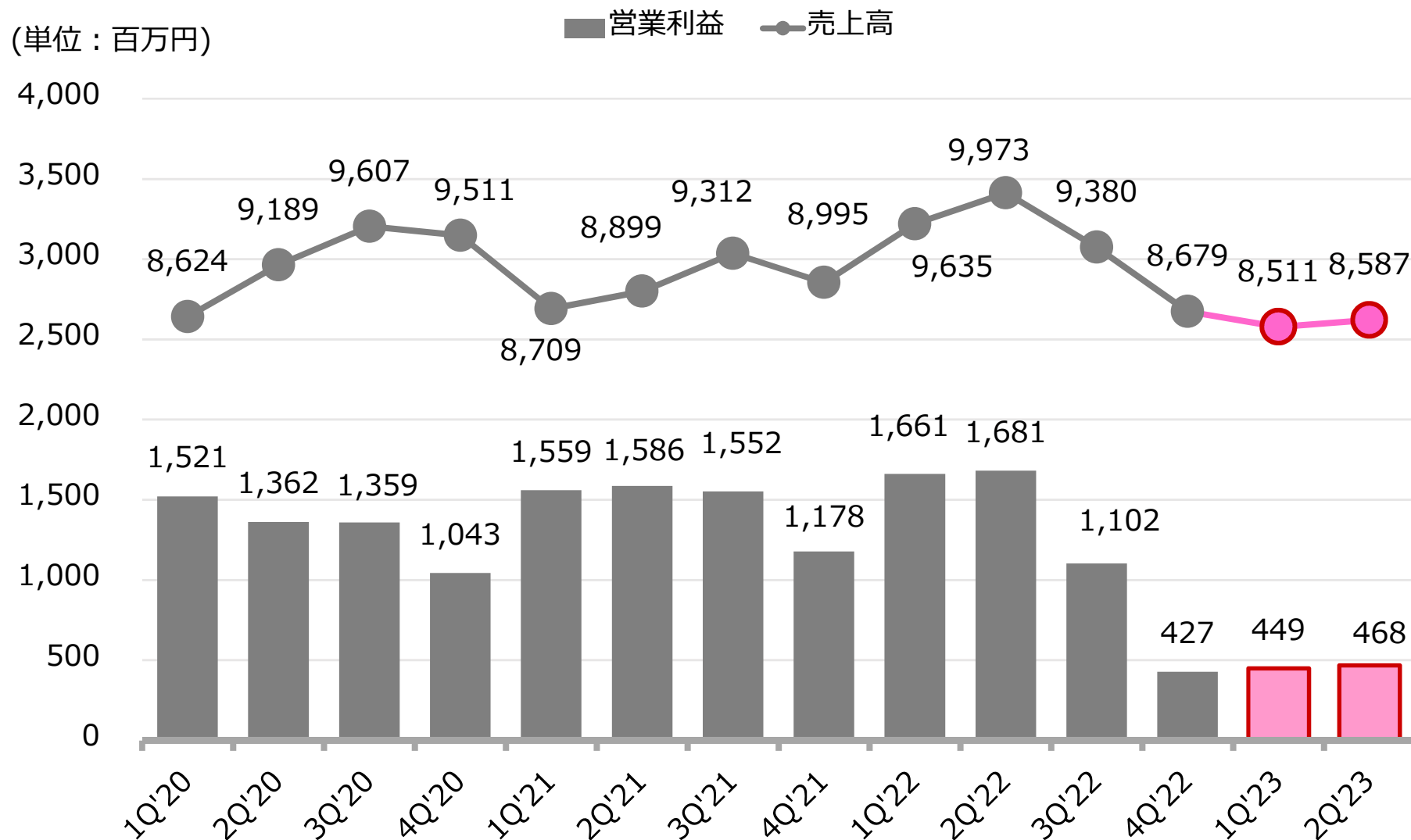
売上高	361億円（進捗率47%）
営業利益	29億円（進捗率31%）

- ✓中間配当55円、期末配当55円とし、年間で110円を予定
- ✓自己株式取得 5億円

業績推移



四半期業績推移



FY23上期 連結決算概要

(単位：百万円)



	FY22	FY23	
	上期 実績	上期 実績	前年 同期比
売上高	19,609	17,098	▲12.8%
営業利益	3,343	917	▲72.6%
経常利益	3,406	1,262	▲62.9%
四半期純利益	2,307	896	▲61.1%
EBITDA	4,811	2,471	▲48.6%

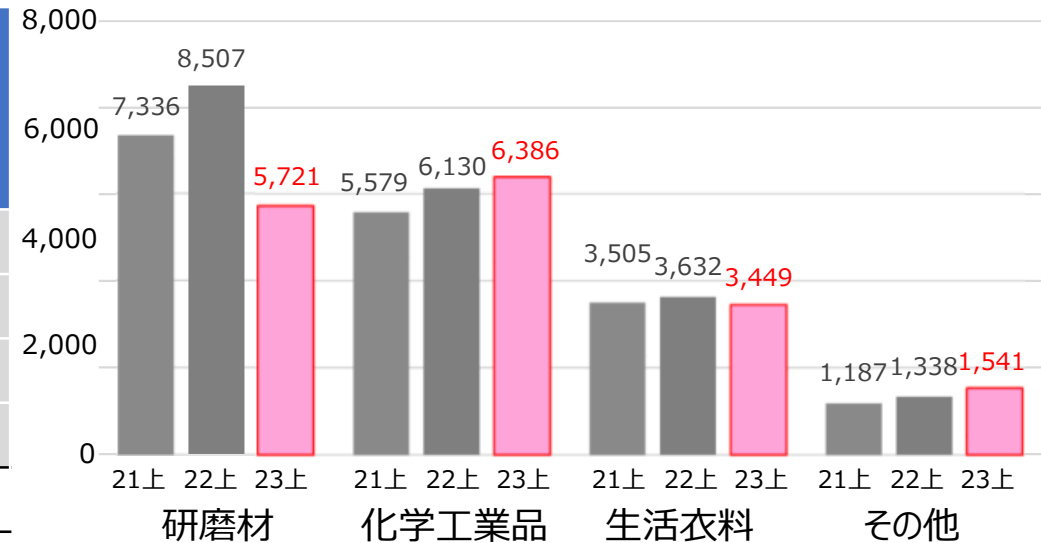
FY23上期 セグメント別業績



【売上高】

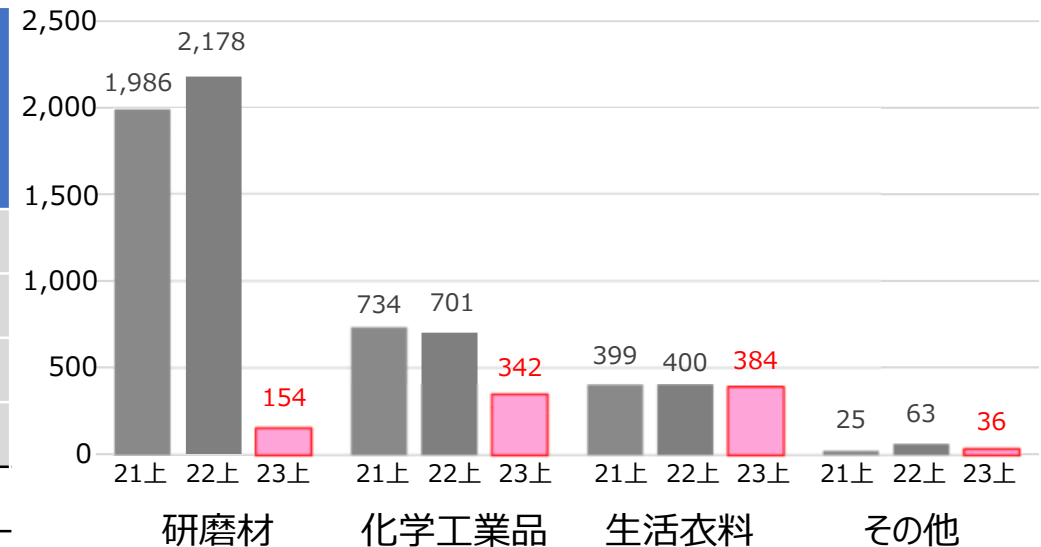
(単位：百万円)

	FY22	FY23	前年 同期比
	上期 実績	上期 実績	
研磨材	8,507	5,721	▲2,786
化学工業品	6,130	6,386	+255
生活衣料	3,632	3,449	▲182
その他	1,338	1,541	+202
合計	19,609	17,098	▲2,510



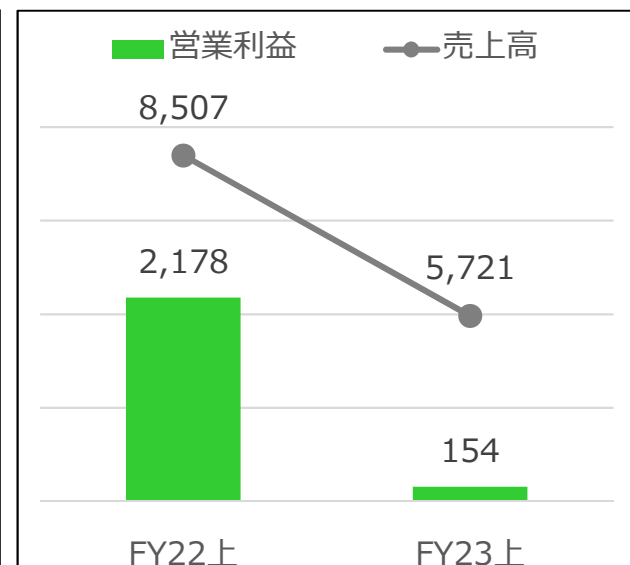
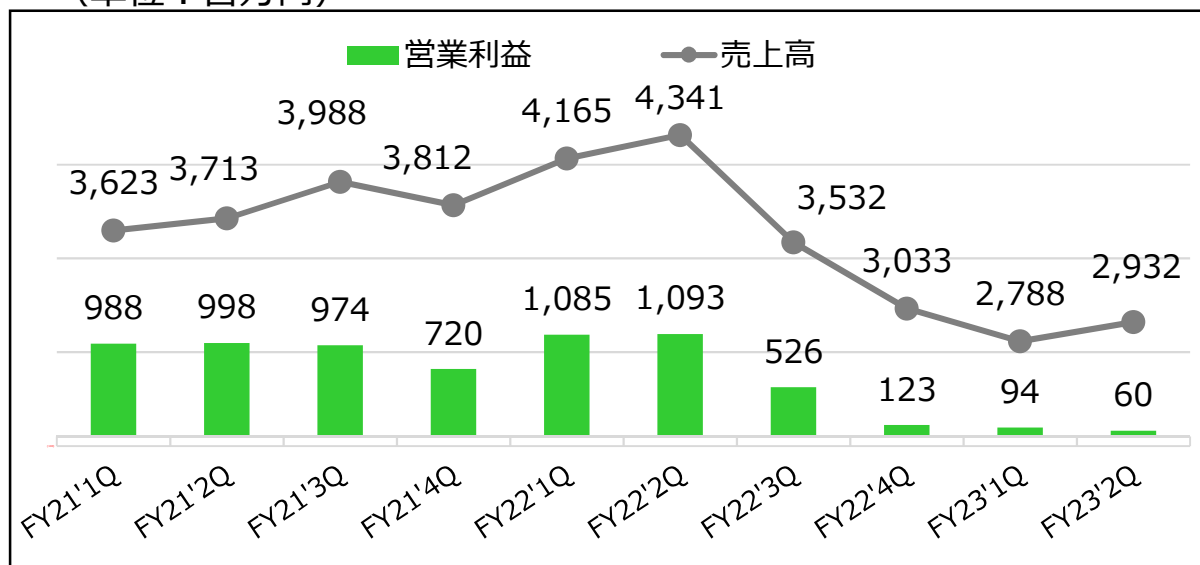
【営業利益】

	FY22	FY23	前年 同期比
	上期 実績	上期 実績	
研磨材	2,178	154	▲2,024
化学工業品	701	342	▲359
生活衣料	400	384	▲16
その他	63	36	▲26
合計	3,343	917	▲2,425

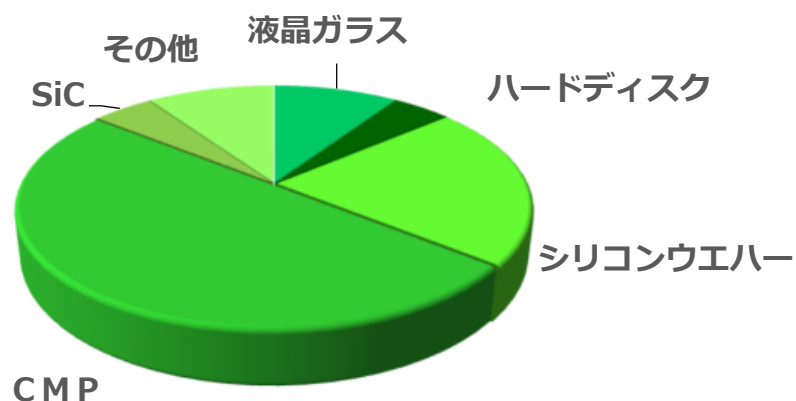


研磨材事業（1/2）

（単位：百万円）



FY23上期売上構成



減収減益

✓シリコンウエハー用途/CMP用途

- ・在庫調整が続き、大きく受注減少

✓液晶ガラス用途

- ・パネルメーカーの急激な減産調整の影響を受ける

✓ハードディスク用途

- ・パソコン及びデータセンター向けで需要減退

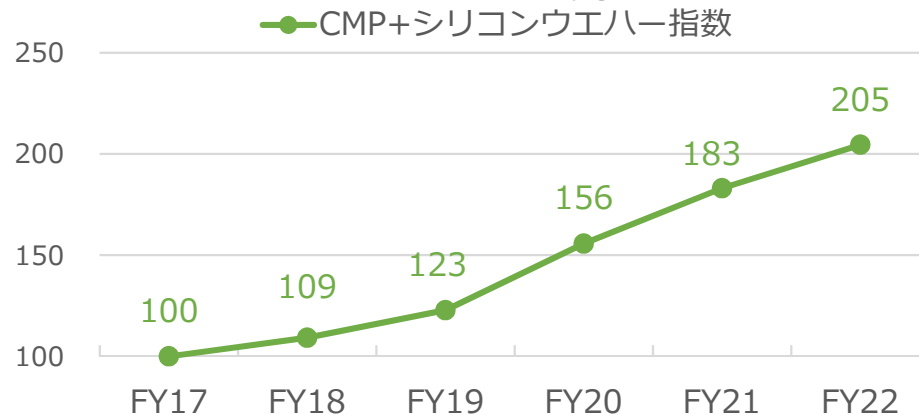
✓SiC用途

- ・次世代パワーデバイスとして期待され、好調に推移

研磨材事業（2/2）

【当社半導体関連事業売上高推移】

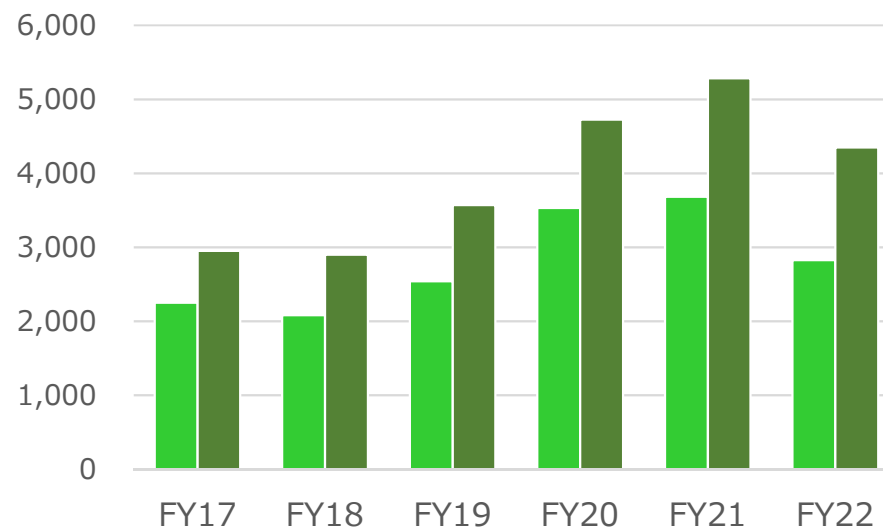
※FY17=100とする



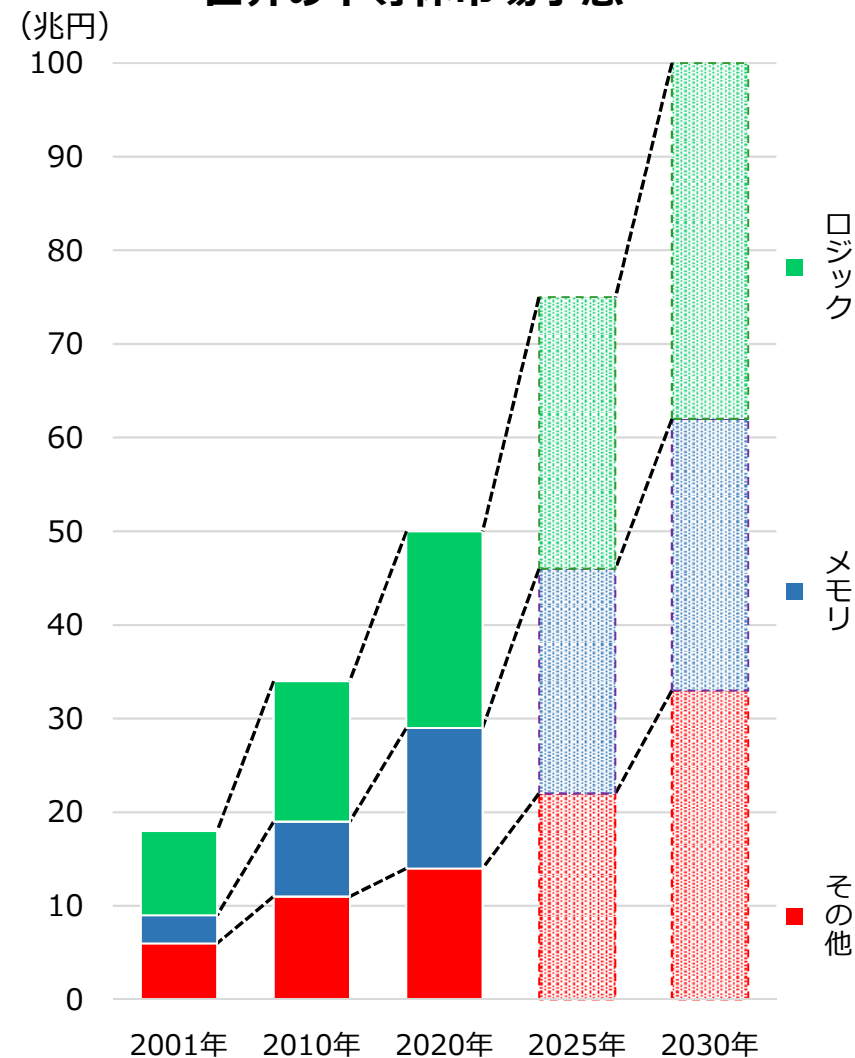
【研磨材事業EBITDA推移】

(単位：百万円)

■ 営業利益 ■ EBITDA



世界の半導体市場予想

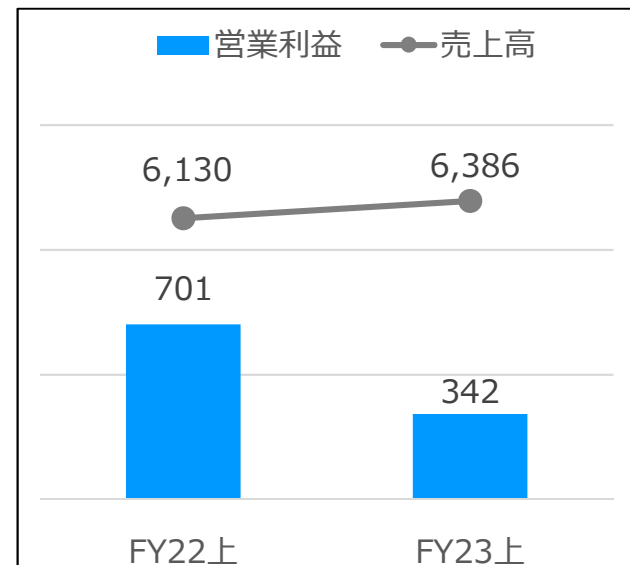
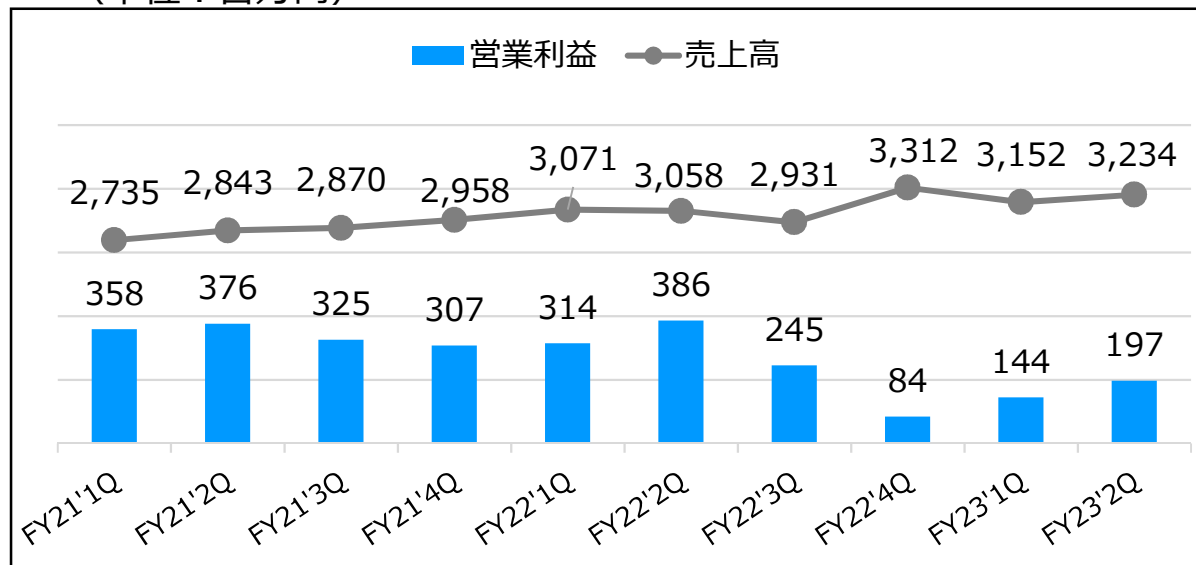


※2025年度より予想

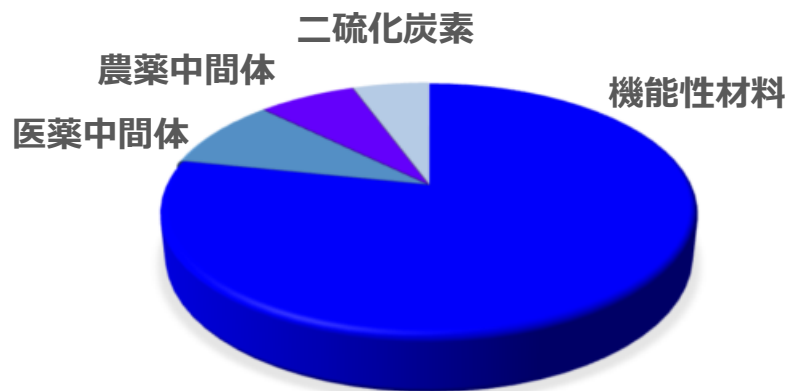
(注) 各種資料により当社作成

化学工業品事業 (1/2)

(単位：百万円)



FY23上期売上構成



増収減益

✓機能性材料・医薬中間体・農薬中間体

- ・一部の機能性材料、医薬中間体および農薬中間体などは、堅調に推移
- ・化学業界全体は、世界的な需要の減退に加え、半導体を中心とした電子材料市況が悪化

✓柳井工場、武生工場ともにフル稼働に至らず

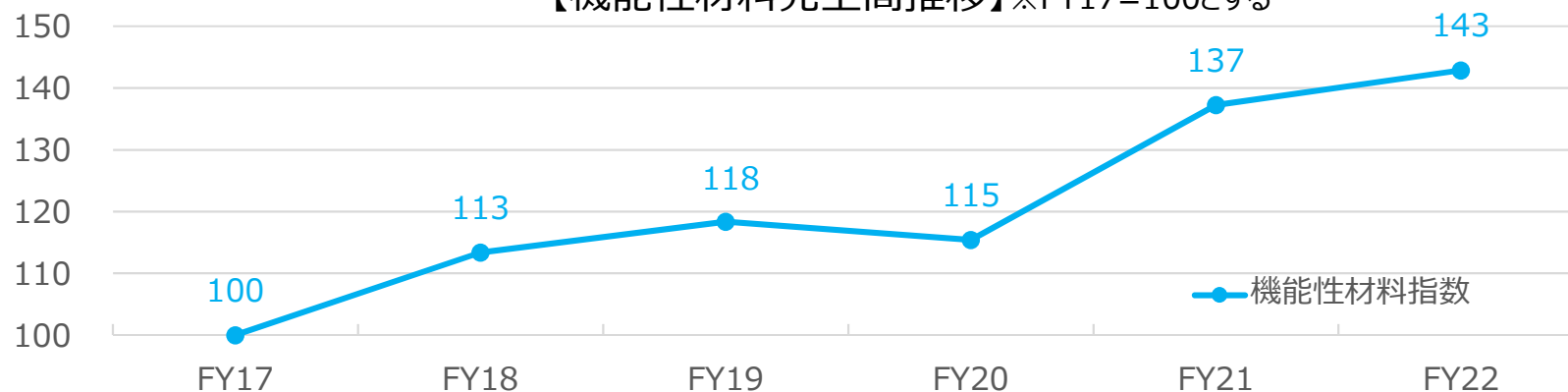
- ・原材料・エネルギー価格高騰による製品コスト上昇分は価格転嫁

化学工業品事業（2/2）

【当社の特性】

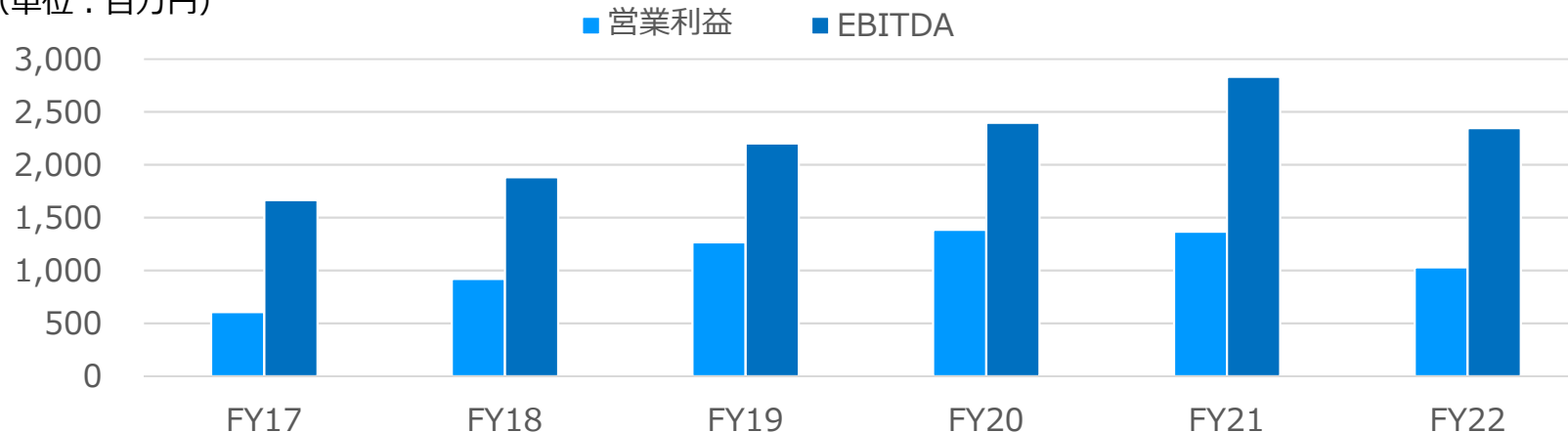
- ・顧客ニーズに応える生産体制
- ・高い技術力を背景とした新商品開発・製造に役立つ受託メーカー

【機能性材料売上高推移】※FY17=100とする



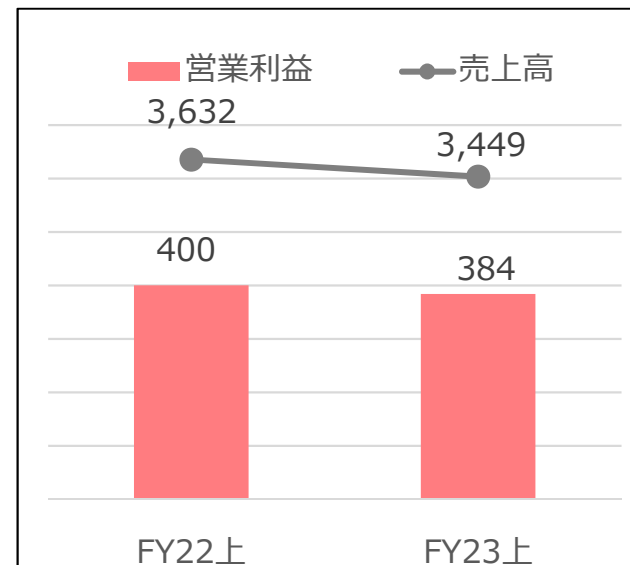
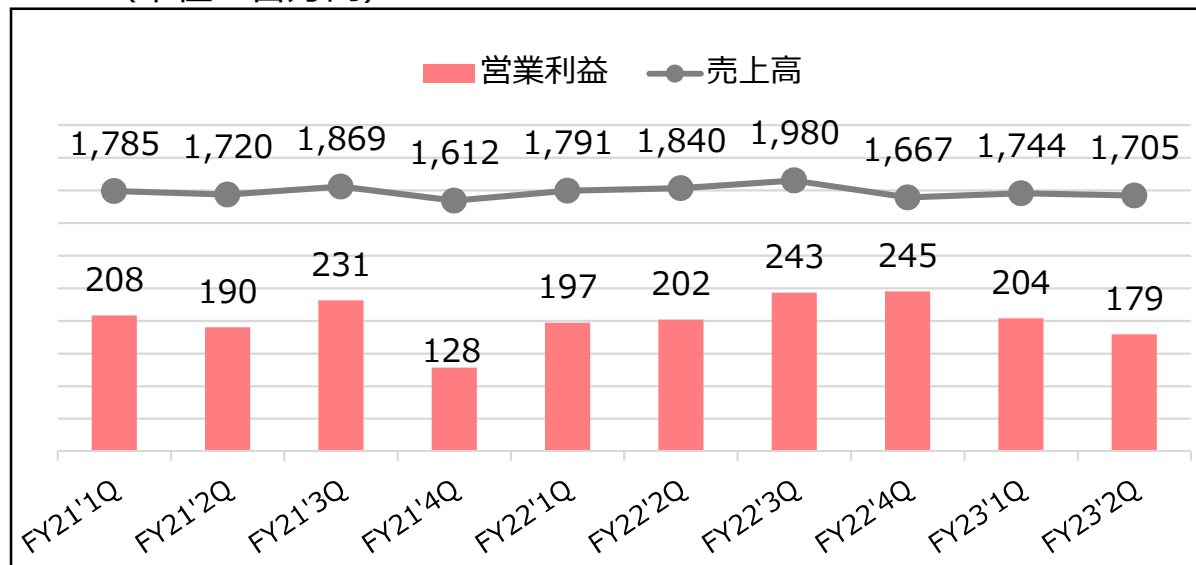
【化学工業品事業EBITDA推移】

(単位：百万円)

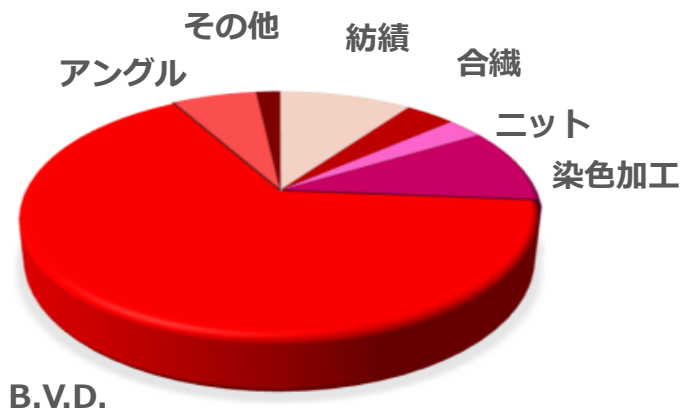


生活衣料事業（1/2）

（単位：百万円）



FY23上期売上構成



減収減益

✓繊維素材

- ・ 物流や原材料のコスト高、円安に伴う部材調達や海外製造の高騰を受ける

✓BVD・アングル製品

- ・ 店頭販売では、収益性の高い製品への絞り込み
- ・ ネット販売では、顧客ニーズや市場動向に応じ、デジタルマーケティングを強化

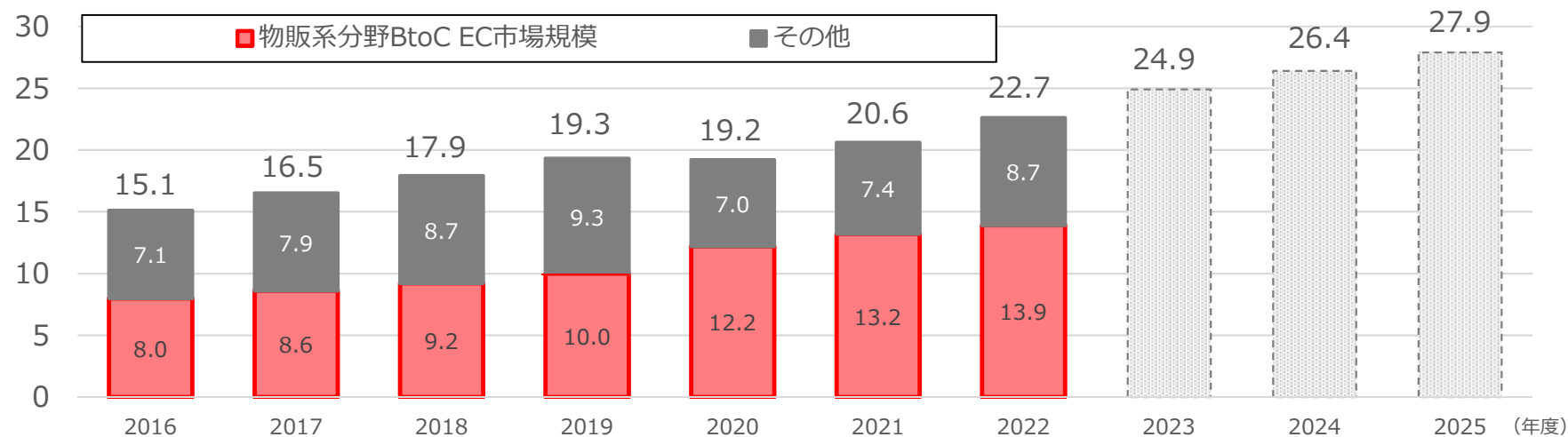
生活衣料事業（2/2）



(単位：兆円)

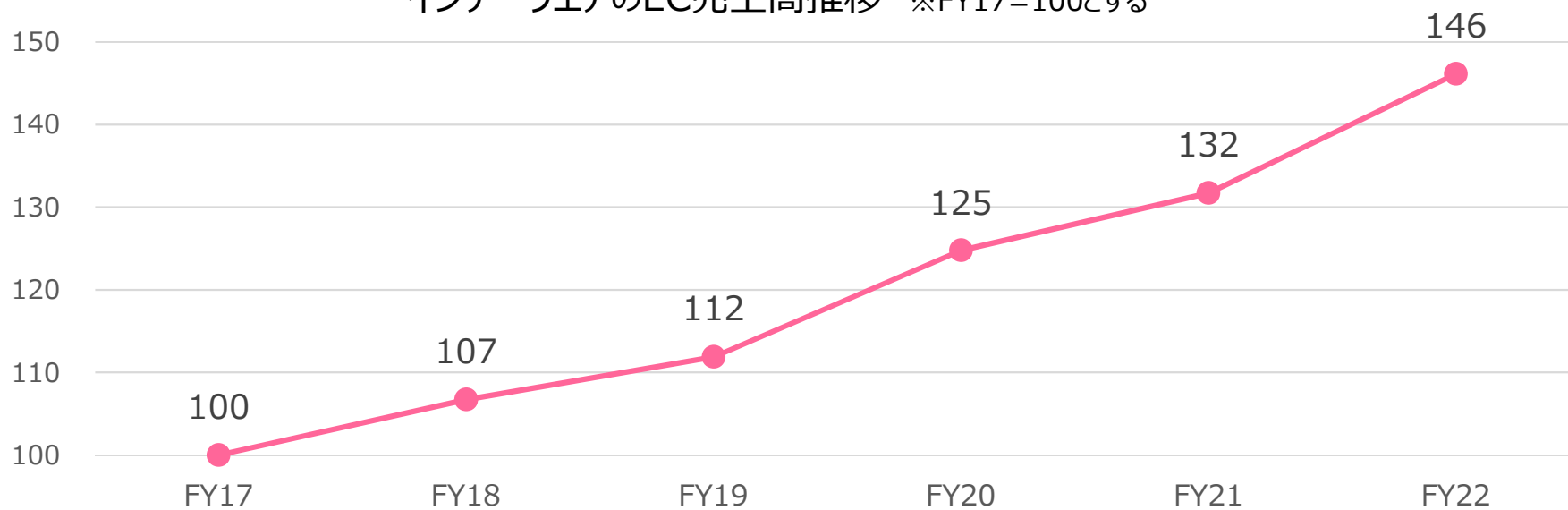
国内EC市場規模予想

※2023年度より予想



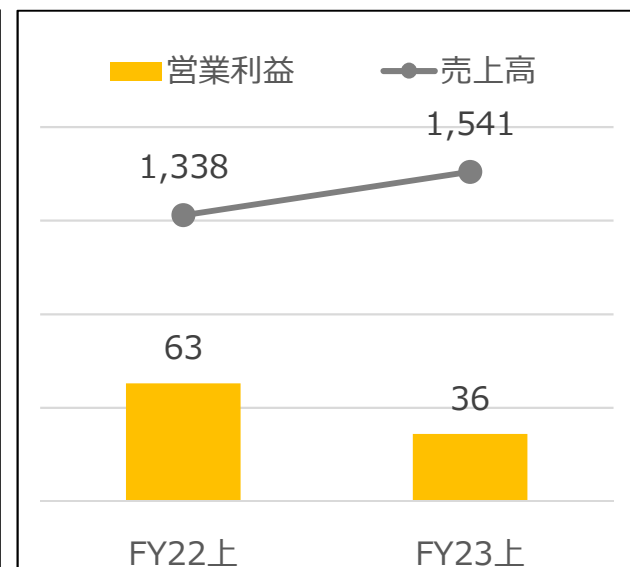
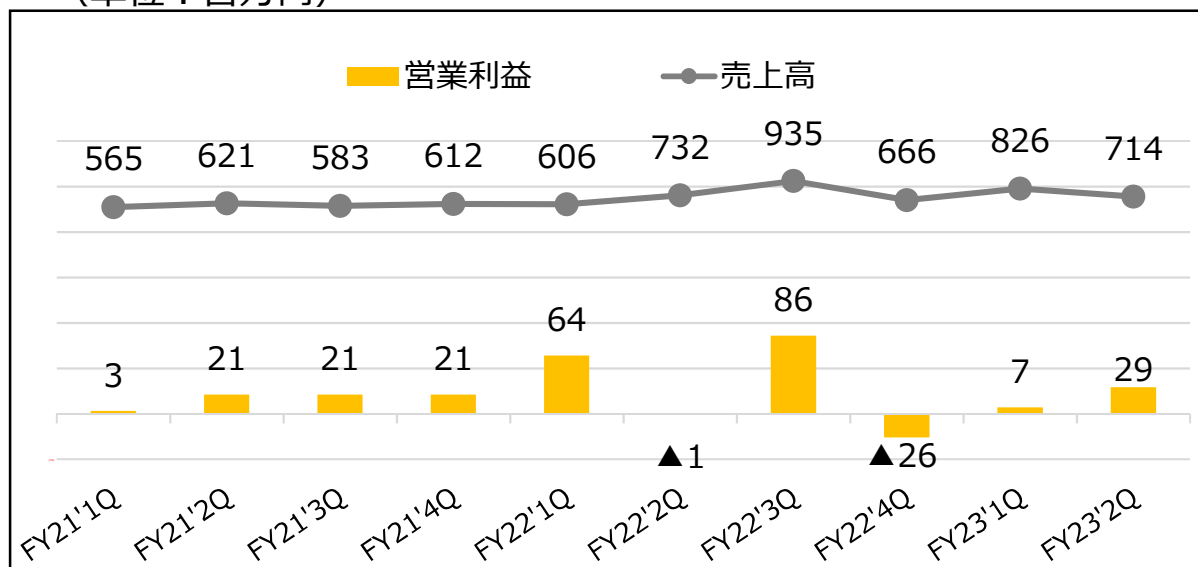
(注) 各種資料より当社作成

BVD・アングル事業における
インナーウェアのEC売上高推移 ※FY17=100とする



その他事業

(単位：百万円)



FY23上期売上構成



増収減益

✓化成品部門

- ・医療機器用部品は市場の回復により受注が増加、デジタルカメラ用部品は半導体不足の影響で受注が減少

✓金型部門

- ・自動車向け金型は苦戦、金型子会社がグループ入りにより売上は増加

✓貿易部門

- ・収益性・安全性の高い取引に対象を絞り、採算性改善

FY23上期 連結損益計算書

(単位：百万円)

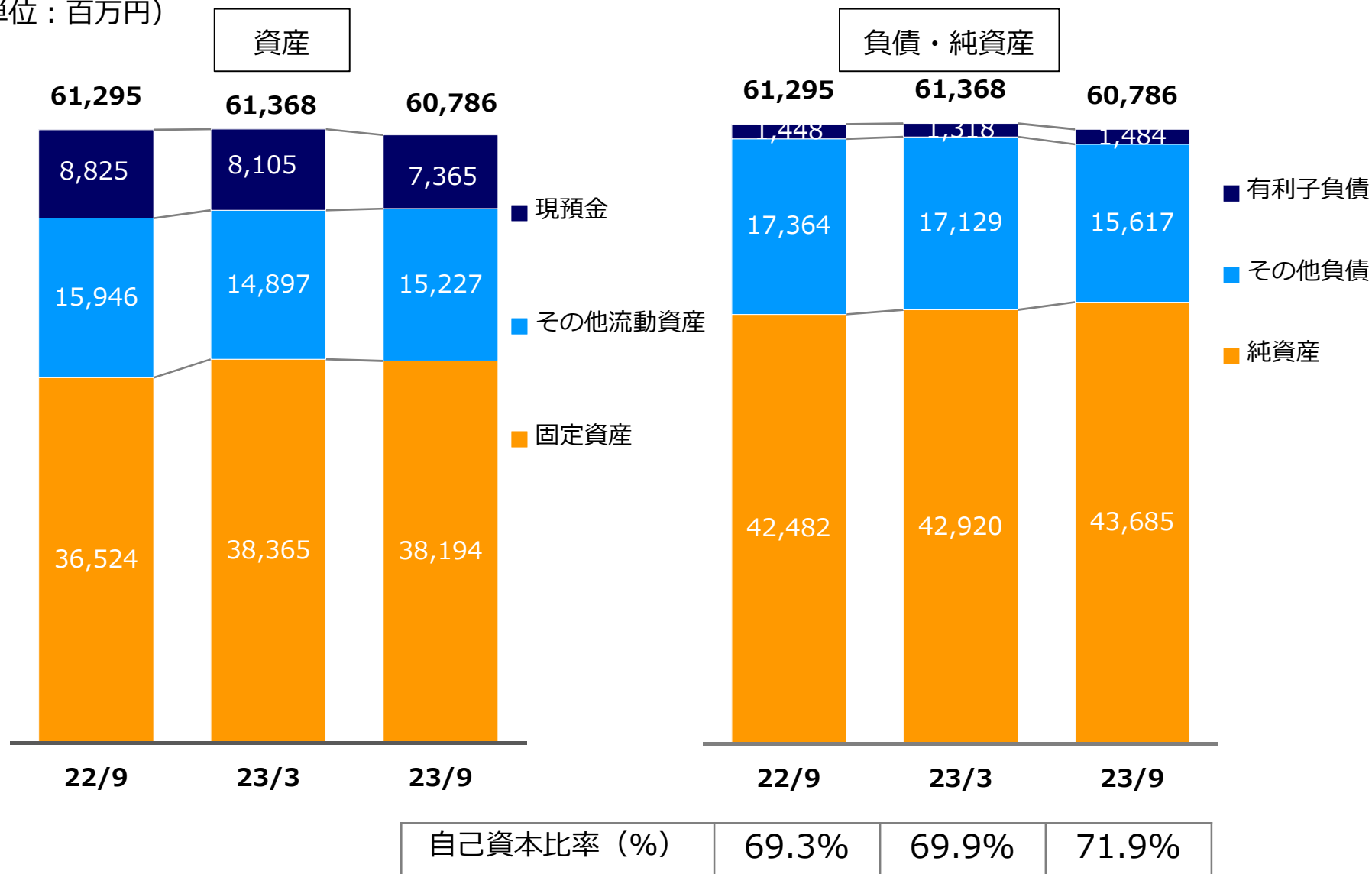


	FY22上期	FY23上期	増減	
売上高	19,609	17,098	▲2,510	▲12.8%
営業利益	3,343	917	▲2,425	▲72.6%
営業外損益	+63	+344	+281	
経常利益	3,406	1,262	▲2,144	▲62.9%
特別損益	▲38	+101	+140	
税前四半期利益	3,367	1,364	▲2,003	▲59.5%
法人税等	1,059	467	▲592	
四半期純利益	2,307	896	▲1,410	▲61.1%

連結貸借対照表



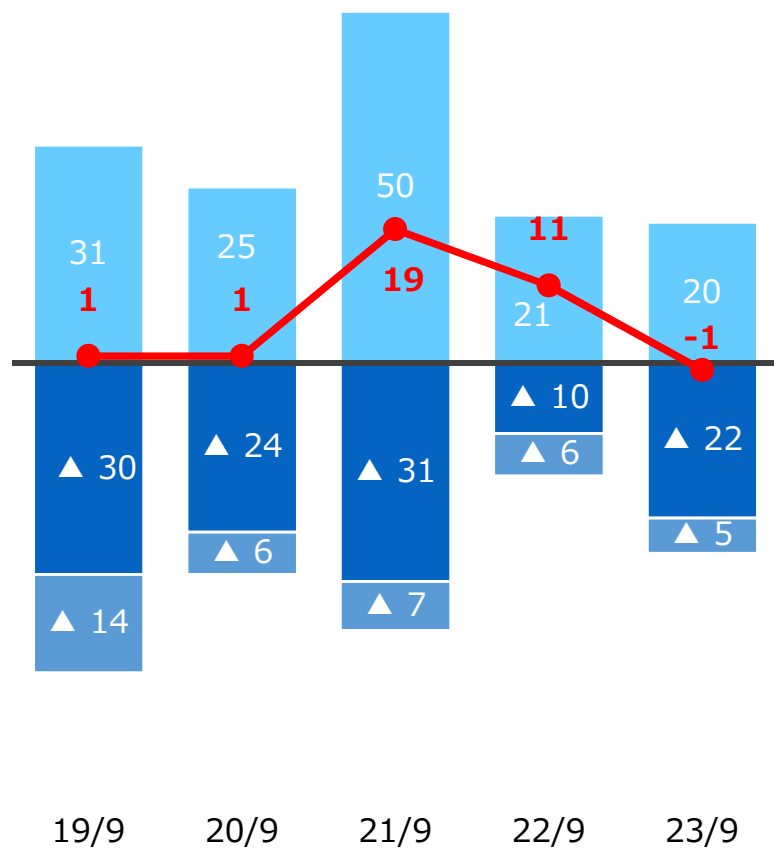
(単位：百万円)



キャッシュフロー・運転資本

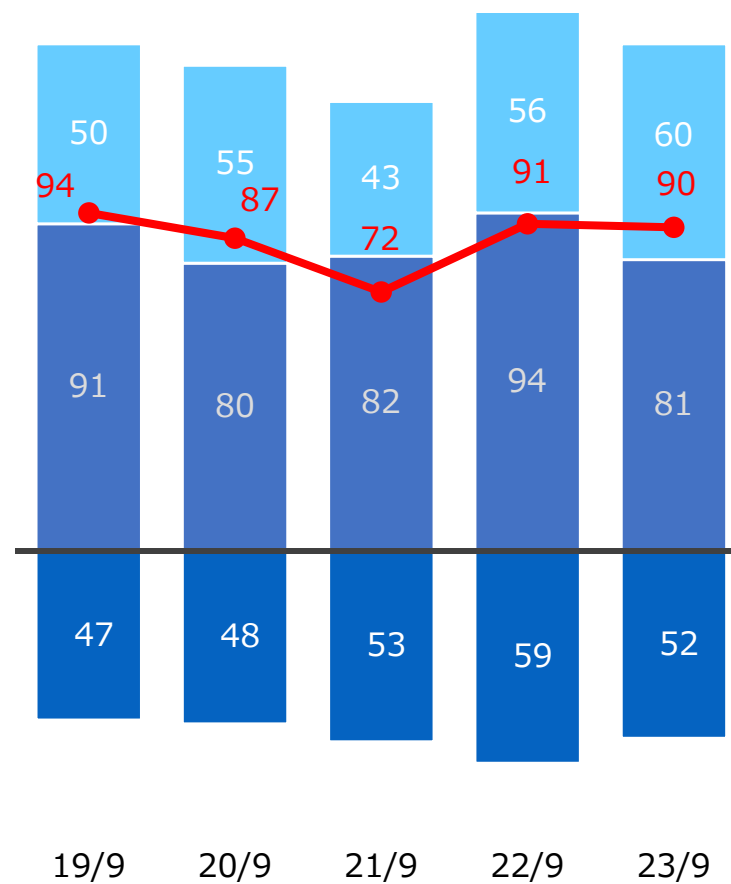
(単位：億円)

キャッシュフロー



営業CF 投資CF 財務CF FCF

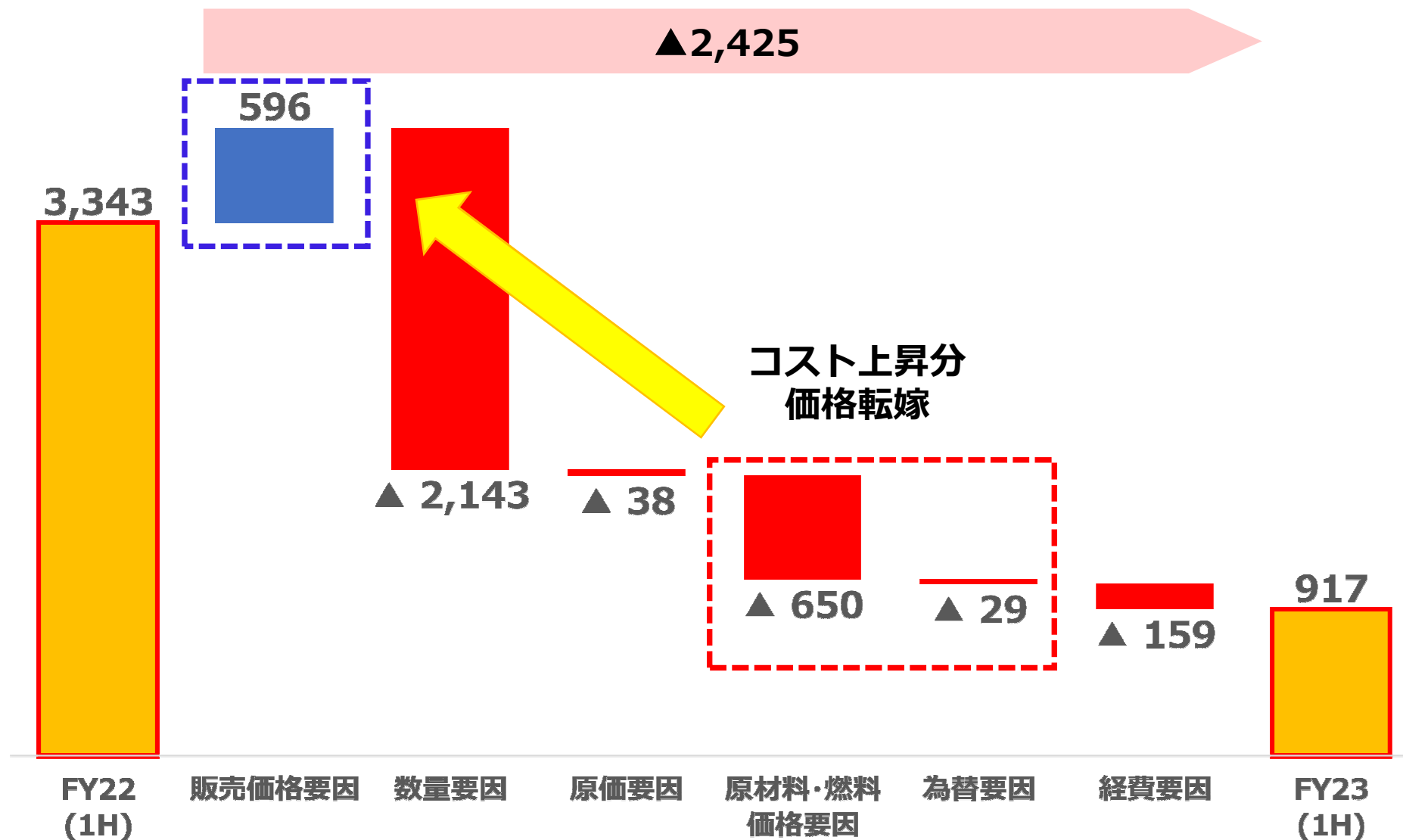
運転資本



売上債権 仕入債務 棚卸資産 運転資本

営業利益増減要因分析

(単位：百万円)



(注) 1H：上半期

FY23 連結業績予想

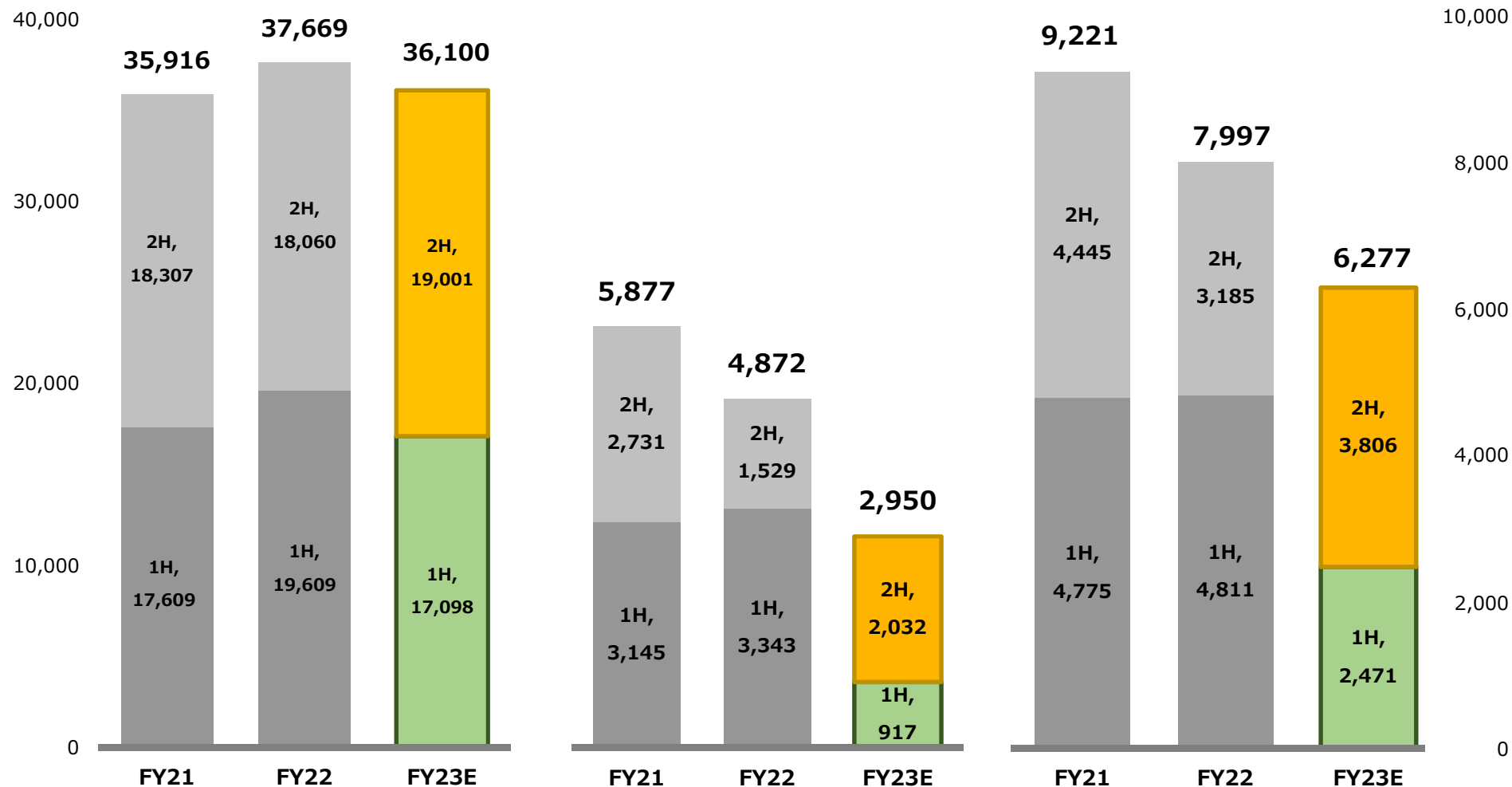


売上高

営業利益

EBITDA

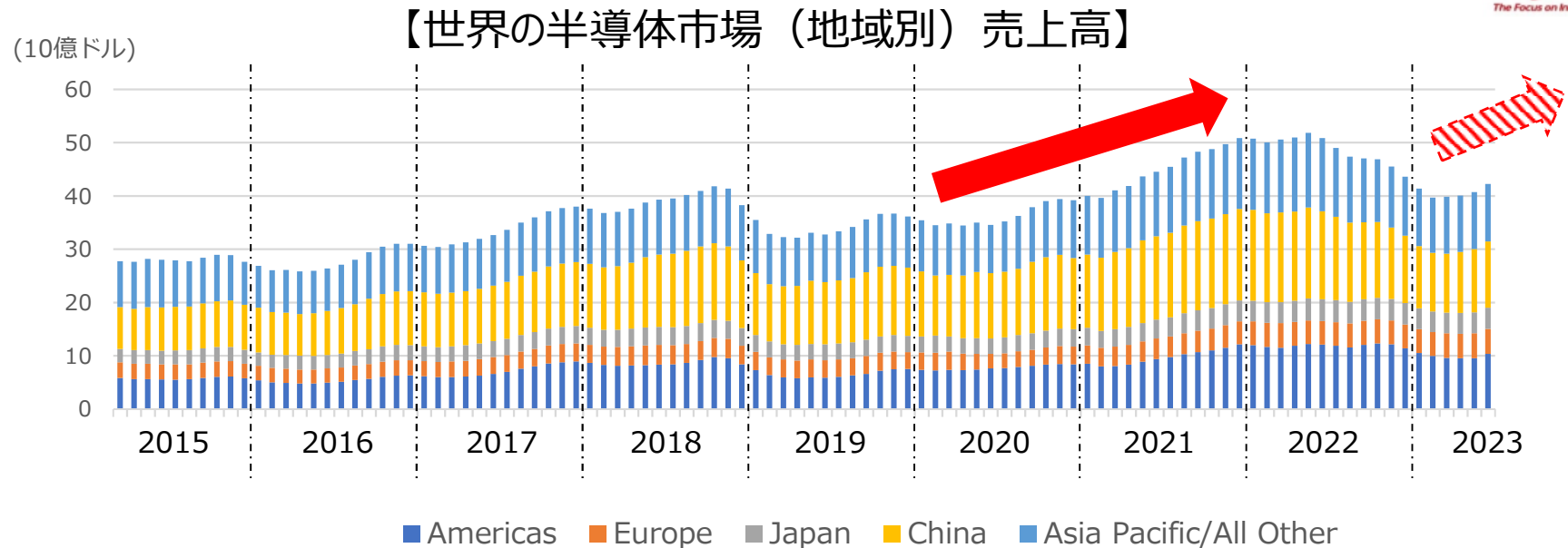
(単位：百万円)



(注1) 1H：上半期、2H：下半期

(注2) FY23E：業績予想

2023年度予想のポイント



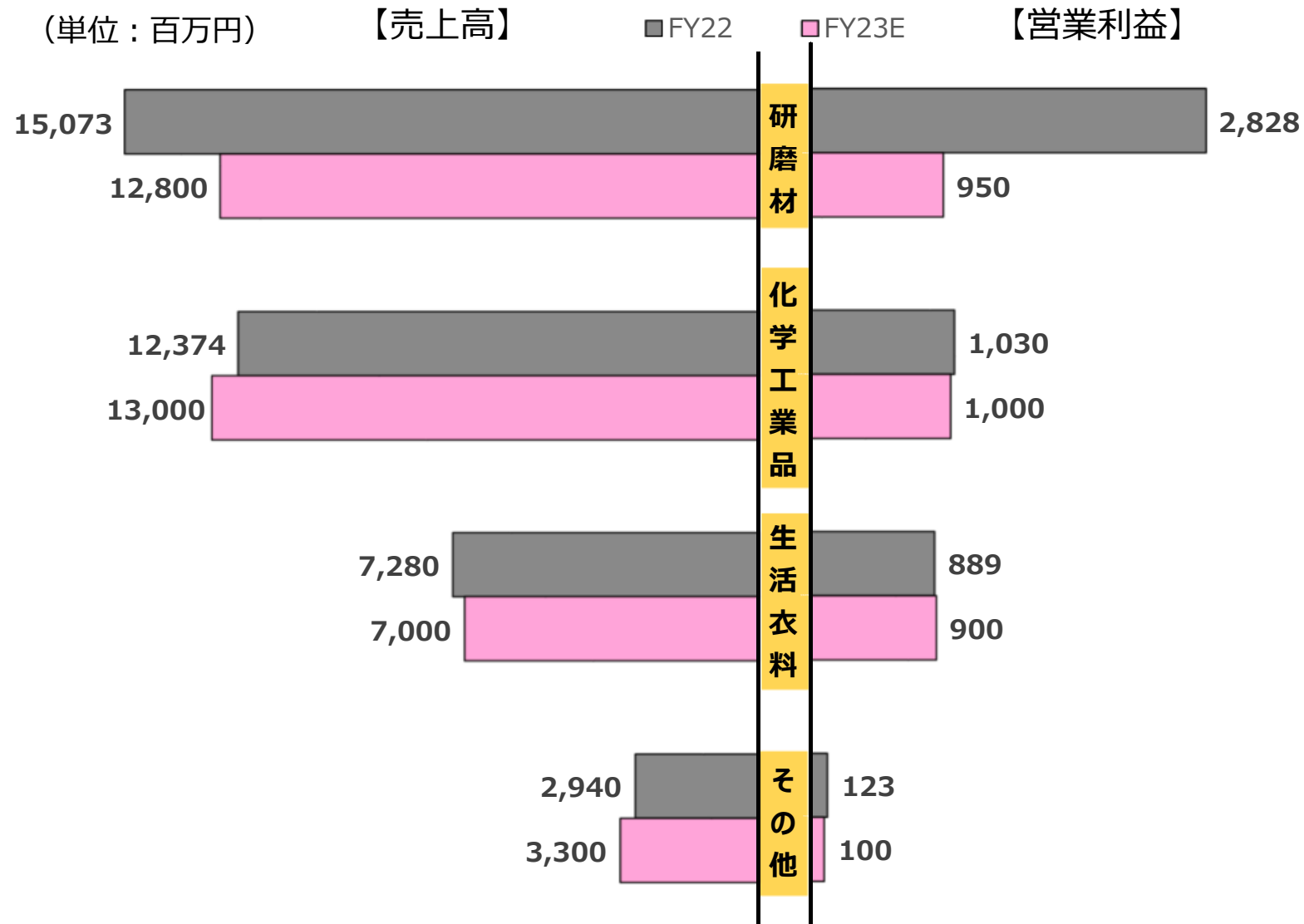
(注) WSTS資料より当社作成

○研磨材事業は、需要の調整局面から緩やかに回復する見通し

対応策

- ✓徹底したコスト削減
- ✓DX推進による生産性の向上
- ✓長期的な視点での設備投資

FY23 セグメント別予想



FY23 連結業績予想概要

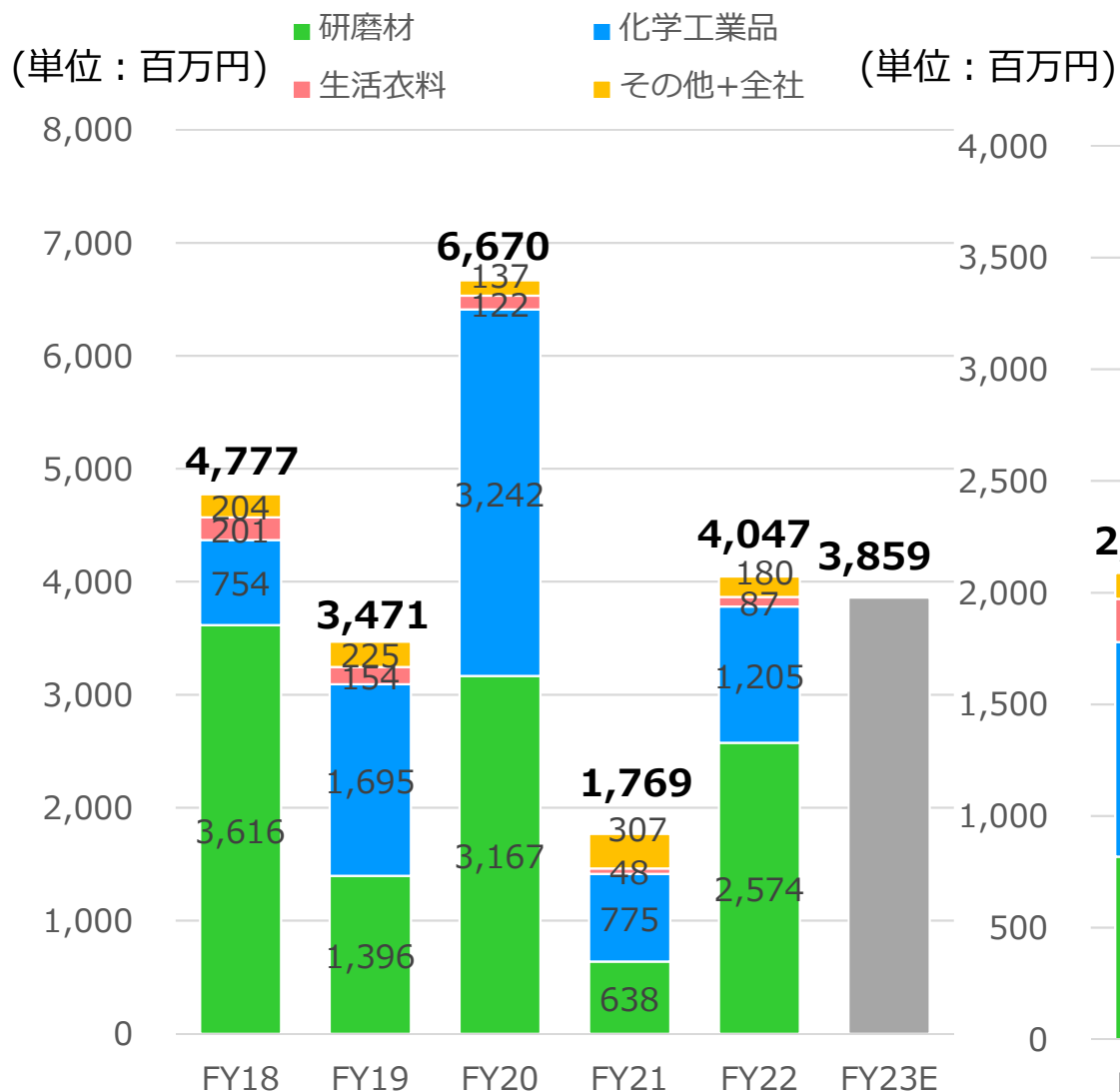


(単位：百万円)

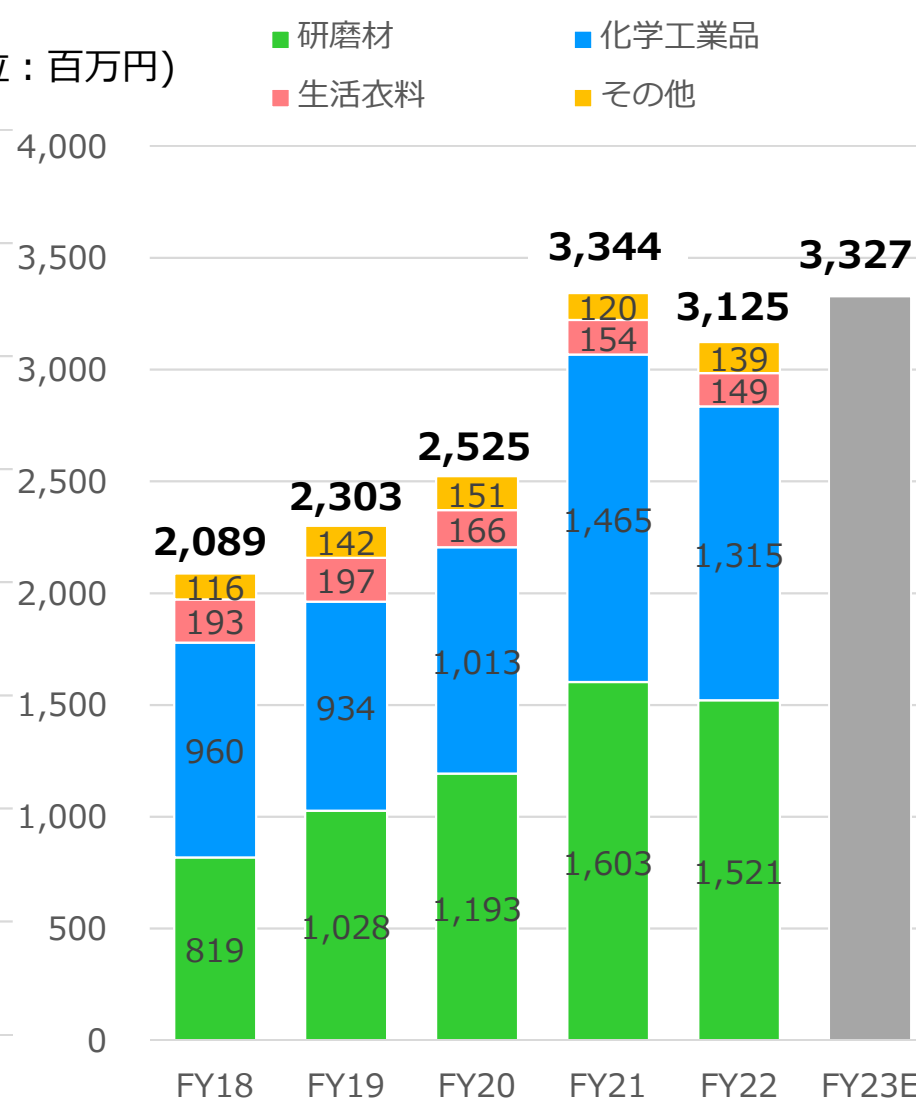
	FY22 実績	FY23業績予想		年度	
		上期実績	年間	増減額	増減率
売上高	37,669	17,098	36,100	▲1,569	▲4.2%
営業利益	4,872	917	2,950	▲1,922	▲39.5%
経常利益	5,041	1,262	3,350	▲1,691	▲33.6%
当期純利益	3,399	896	2,200	▲1,199	▲35.3%
EBITDA	7,997	2,471	6,277	▲1,720	▲21.5%
1株あたりの 当期純利益	296.54円	78.20円	191.77円	▲104.78円	
1株あたりの 配当金	110円	55円	110円	±0円	

セグメント別設備投資・減価償却費

【設備投資】



【減価償却費】



今後の重点事業の成長戦略

各事業の状況と成長領域	今後の対応
✓【研磨材事業・化学工業品事業】 核として更なる成長の目指す	・将来の業容拡大を見据えた設備投資
✓【生活衣料事業】 デジタル技術を活かした事業改革を推進	・Eコマース型ビジネスモデルへの転換
✓【化成品事業】 第4の柱事業に向けた成長加速	・医療機器用途向けの需要拡大に応じた生産能力増強
重点事業の成長投資の方向性	今後の対応
✓【研磨材事業】 研究開発投資強化	・ユーザーとの連携強化のため、台湾に研究開発施設を設置
✓【化学工業品事業】 能力増強投資	・新プラント建設に向けた付帯設備関連の投資

資本効率を意識した成長投資を実行



中長期的な企業価値向上へ

台湾における研究開発施設の設置について



主力の研磨材事業の拡大に向けて、連結子会社である台湾富士紡精密材料股份有限公司に最先端の研究開発施設を新たに設置

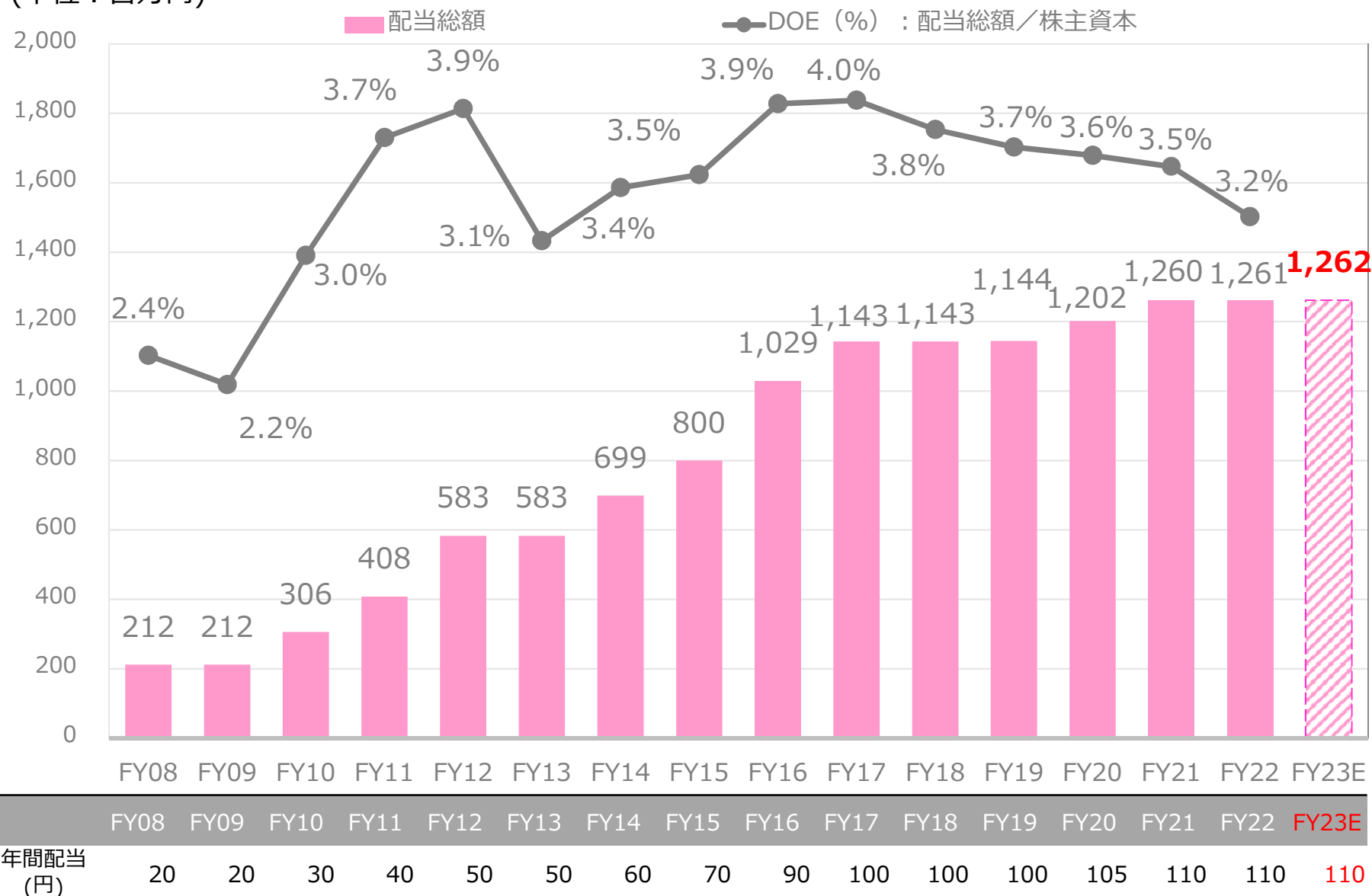
施設概要

(1) 名称	台湾富士紡精密材料股份有限公司 研究開発センター（仮称）
(2) 所在	台湾新竹市周辺を予定
(3) 設置目的	研磨材等の開発
(4) 投資総額	約 5 7 億円（注）
(5) 稼働開始予定	2026年秋頃

**（注）現時点の予定であり、土地・施設設置に係るスキームの変更に
応じて変動する可能性があります。**

株主還元

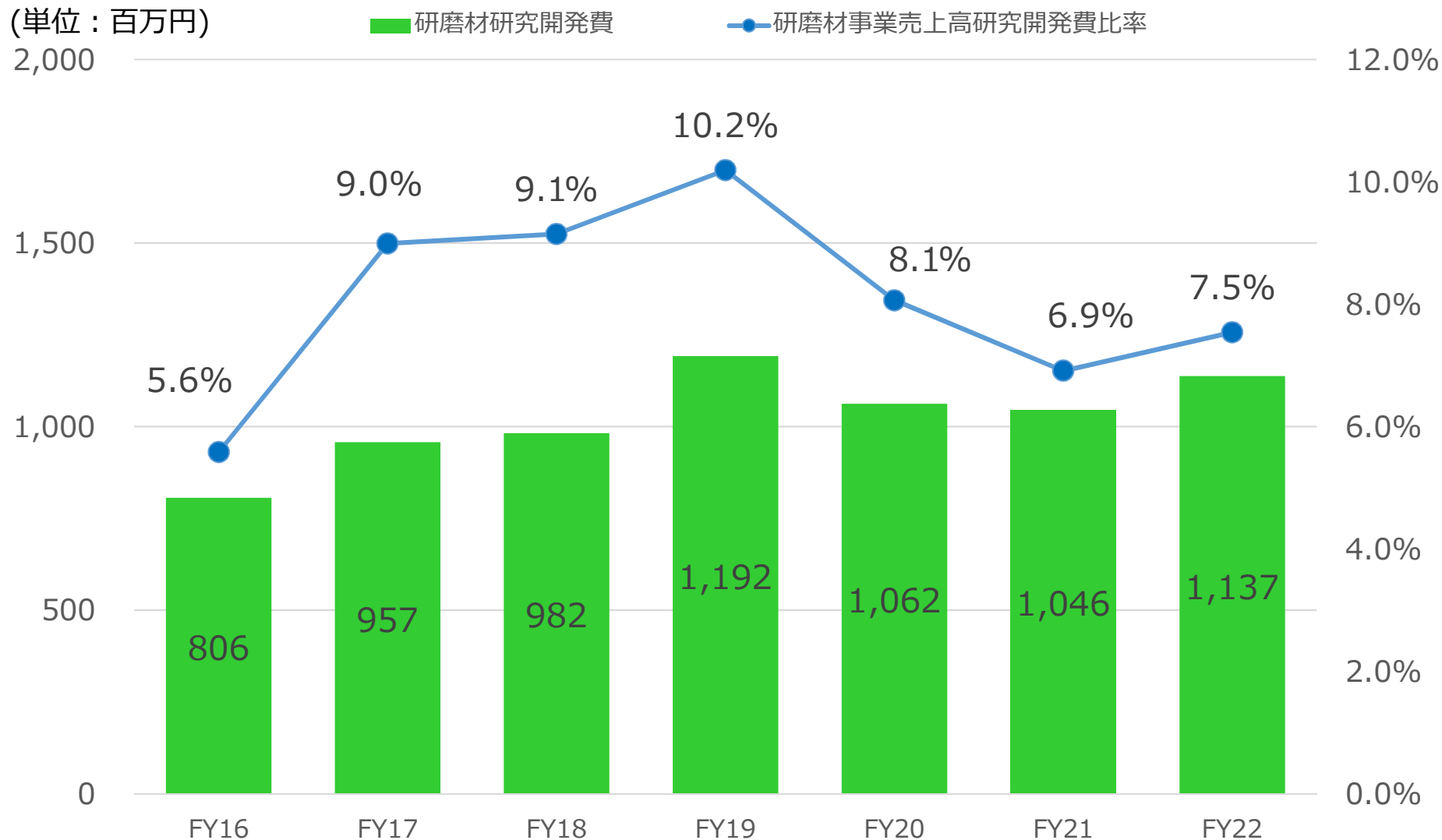
(単位：百万円)



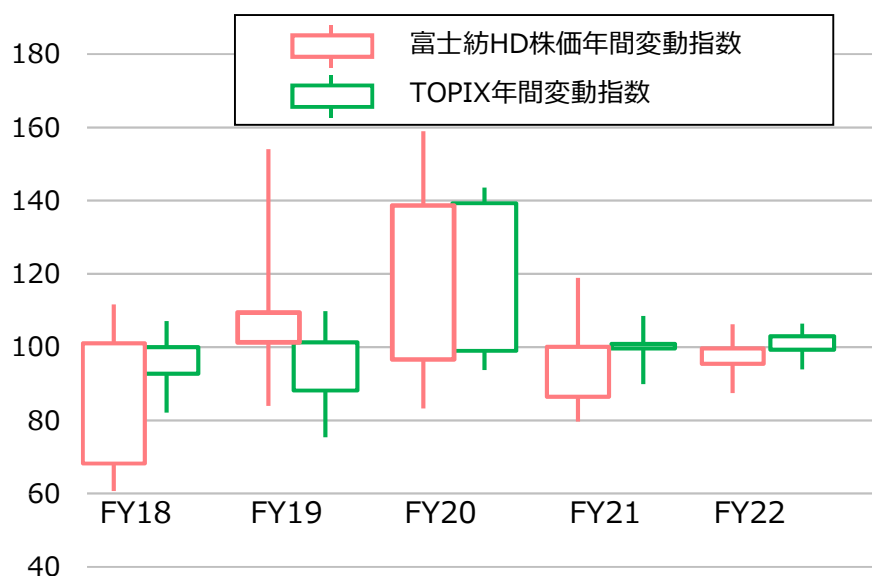
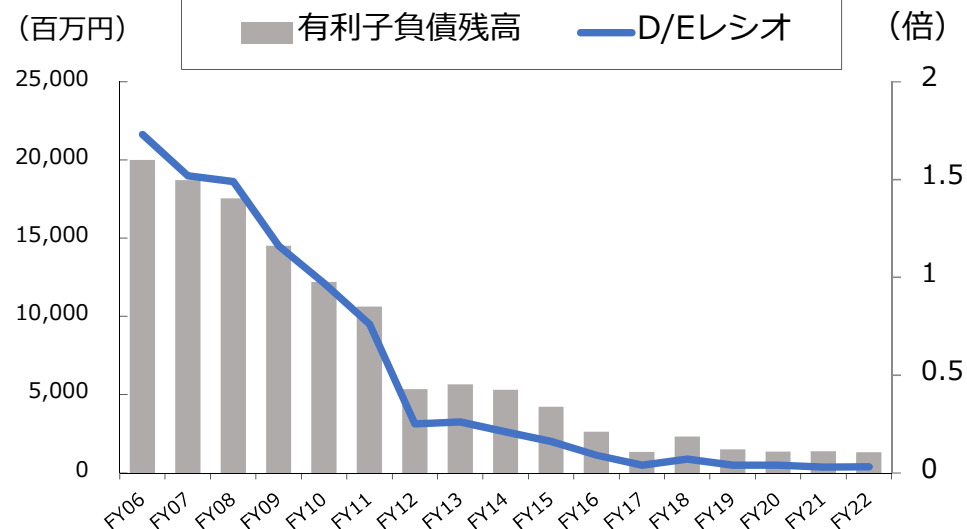
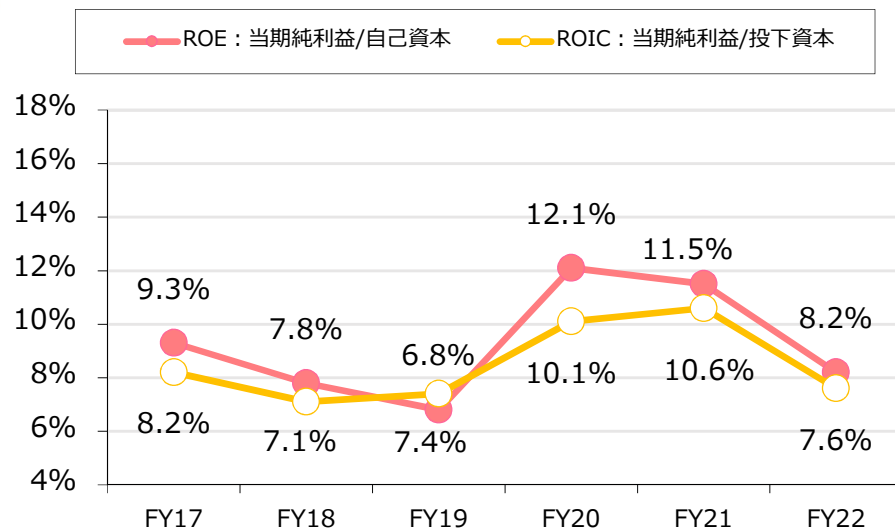
(Appendix) 研磨材事業研究開発費・売上高比率



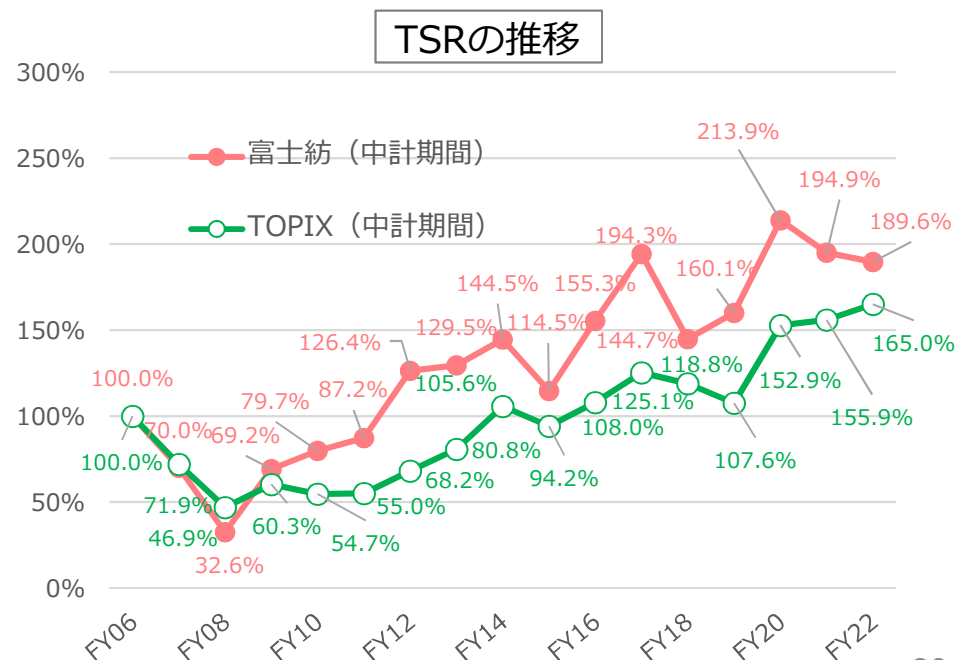
(単位：百万円)



(Appendix)主な経営指標・株価指標



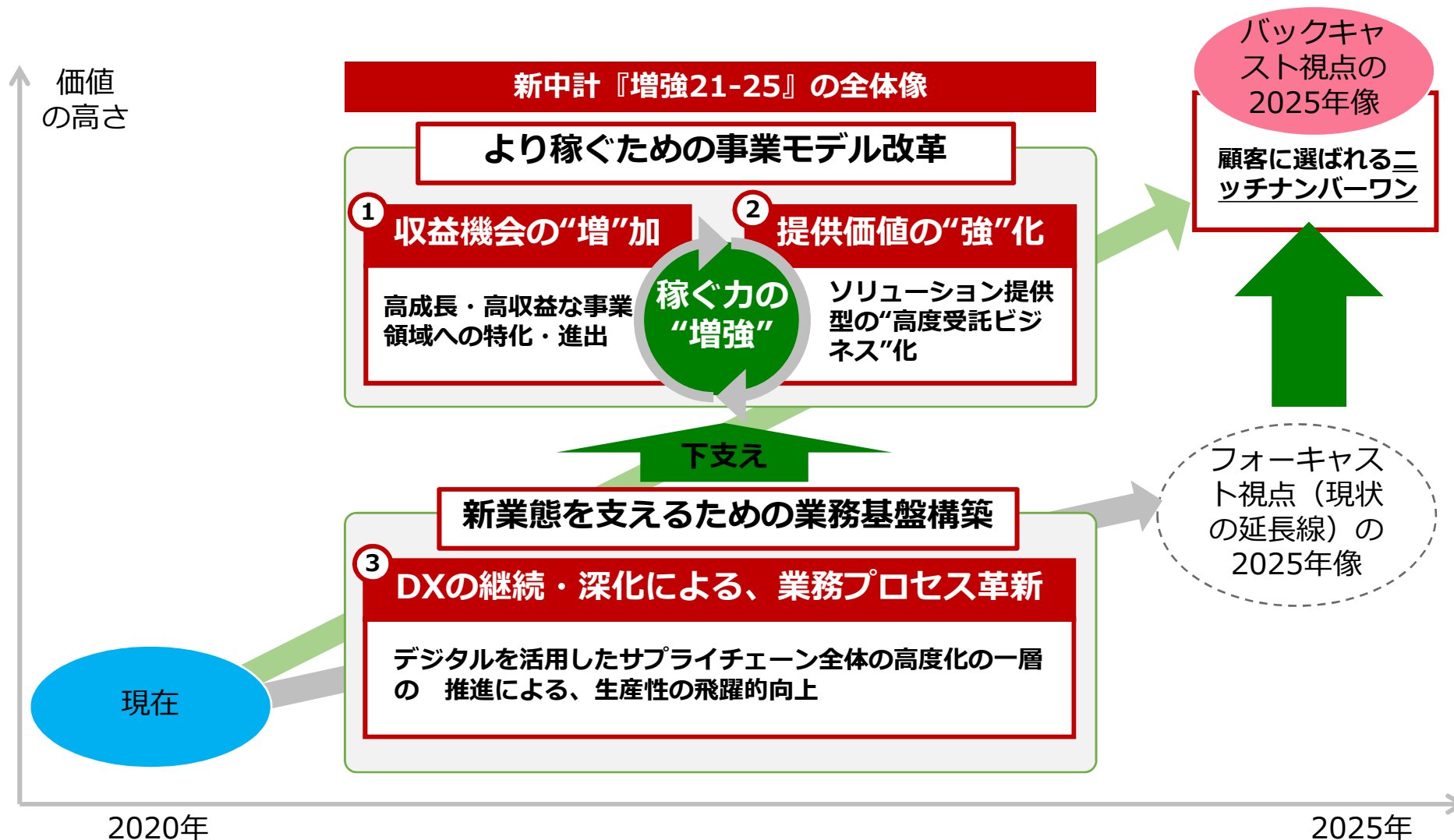
(TOPIX、富士紡HD株価～前年度末価格を100とした場合のローソク足)



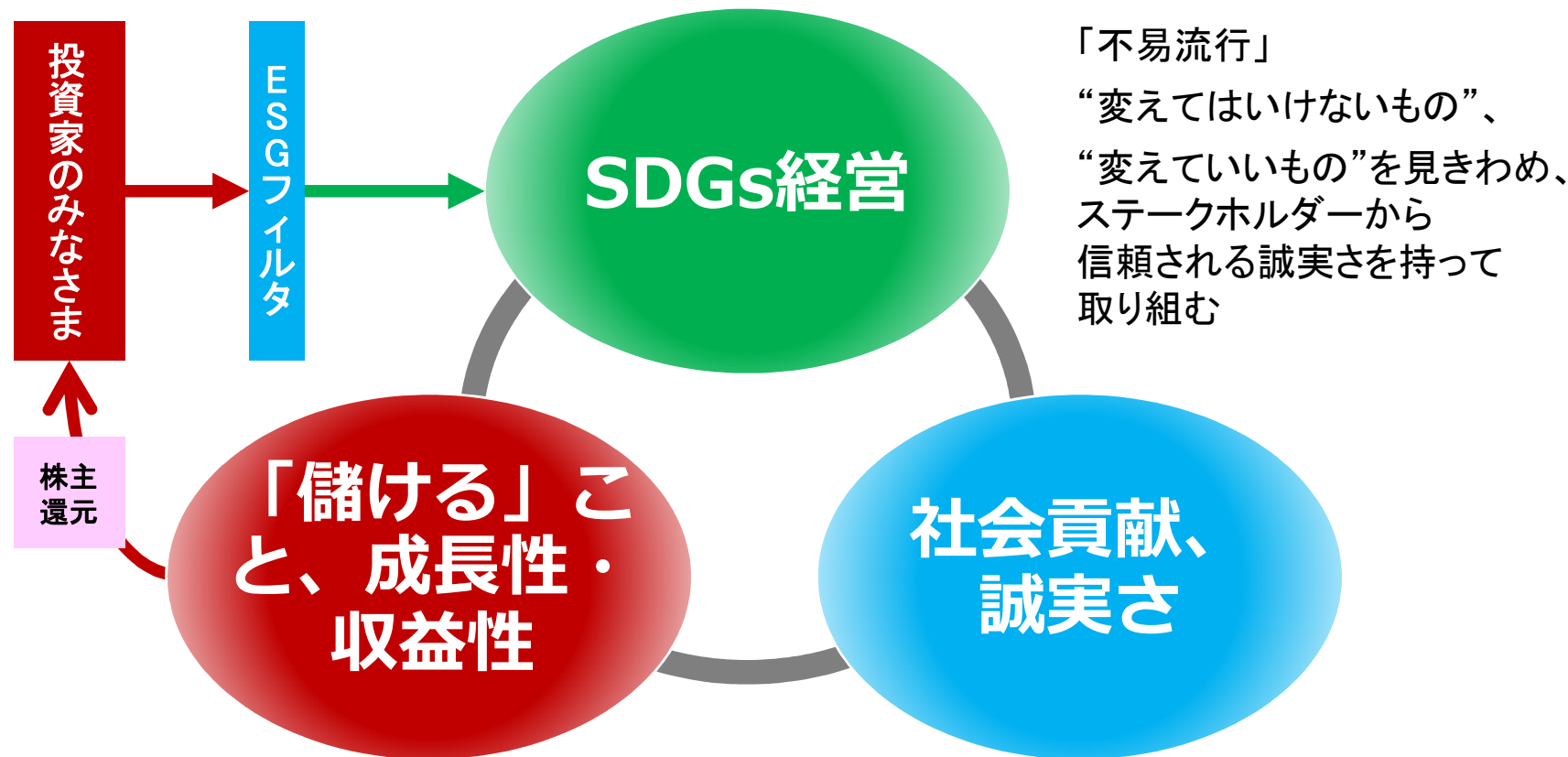
中期経営計画「増強21-25」の全体像



“圧倒的なニッチナンバーワン”を目指し、稼ぐ力の“増強”とDXの継続・深化に取り組む



富士紡のサステナビリティ経営



- 事業ポートフォリオマネジメント
- キャッシュフロー重視
- ROIC経営手法
(在庫削減、借入金返済・有利子負債減少)
- 持続的成長のための投資

- ふくのわプロジェクト参画
(衣料品のリサイクル・リユース、パラスポーツ支援)
- 水族館出資を通してイルカとの共存サポート
- 災害時衣料支援、コロナ対策医療機関従事者応援
- CO2削減、産業廃棄物削減

富士紡のROIC経営

ROICをブレイクダウンし、個々の施策を達成することで全社のROIC向上を図る





- ◆ 本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。
- ◆ 本資料を作成するに当たっては、正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。
- ◆ 本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おきください。